

とらじんきょう 冬

Tojinkyo

2014年1月15日発行 SSKA増刊通巻8145号〈毎月6回1の日6の日発行〉1971年8月7日第三種郵便物認可

SSKA・No.200・2014 1.15

おもな記事

特集／2014年新春座談会	1
200号記念投稿「私と東腎協」	12
透析バンザイ	18



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会
(NPO 東腎協)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556
<http://www.toujin.jp/> E-mail info@toujin.jp

ブロック活動を強化して 組織拡大に火を灯そう

NPO法人東京腎臓病協議会会長 藤田 吉彦



皆さん、明けましておめでとう
ございます。

昨年の会長就任以来6カ月が過
ぎましたが、今更ながら責任の重
さを痛感しております。

年頭に当たり、改めて皆さんの
治療生活が無事に続けられる事
をお祈りします。また東腎協が皆さ
んのお役に立てますよう頑張ります
ので、宜しくお願いいたします。

今年の干支は「午年」(うまどし)
です。原字は「杵」。十二支の中
間に位置し草木の成長が終わって
衰えが始まり、陰が勢いを増すそ
うです。ただし何事にも慎重に考
え、心身をかけて対処すれば、や
がて陽気が復活するとの事、冷静
かつ果断に行動したいと思います。
ところで私達の透析環境は年々
厳しくなり、高齢化と年金医療財
政の悪化が懸念されています。

高齢化は肉体的にはロコモ(運
動機能)の低下や合併症を生み、

財政逼迫は医療の質を直撃いたし
ます。その中で今年は診療報酬の
2年毎の改訂があり、国の医療制
度に対する方針を見極めるチャン
スです。皆さんも透析医療へのシ
ワ寄せを受ける事がないか、是非
とも関心を持っていただきたいと
思います。

さて新年の抱負について申し上
げます。

第一は患者会の現場に直結する
ブロック活動に力を注ぐ事です。
具体的には「正会員会議」を年2
回ブロックで行う事、「個人会員」
との意見交換の場をもつ事、理事
や事務局がブロックとのコミュニ
ケーションをできる限りとする事、
最後に2年間の会長任期中に多く
の患者会を訪問する事等、身近な
ところからまず「隗より始めよ」
です。

第二は、事務局の機能を強化し
会員にとって頼りがいがあり親し

めるものとする事です。事務局は
対外的には組織の顔で、内に対し
ては活性化の要です。しっかりと
した事務局は組織を支え持続させ
る必要条件です。

200号を記念して機関誌「と
うじんきょう」は親しみやすい誌
面に変えました。今年は災害対策
や行政への要請活動の改善に取り
組み、財務計画の中期展望策定に
ついては理事会や各種委員会で検
討したいと思います。

最後にいつも重要なテーマとな
る「組織拡大」について申し上げます。

「組織拡大」は東腎協の発信力
や財務面からも大切な問題ですが、
時代環境の変化や運動のタイミン
グもあり、患者ひとりひとりのご
理解を得ずには解決できるとは思
えません。私は今の時代、最終的
には私達の最後まであきらめない
姿勢、熱意にかかっていると思い

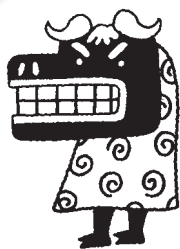
ます。また、高齢化や福祉の充実
により成熟した市場では既存患者
会のつながりを活用する囲い込み
型のマーケティングが有効な事が
多いと思います。つまり地域に密
着してネットワークを活用しコミ
ュニケーションを深化させること
で開拓の実を挙げようとするもの
です。この手法にはブロック活動
と正に重なり合う部分があると思
います。

この様な「組織拡大」のポイン
トは戦略の是非よりも人材の有無
とも言われます。戦略が優れてい
てもそれを責任を持って最後まで
やり遂げる人材に恵まれなければ
絵に描いた餅にすぎません。幅広
く人材を募り、一緒に活動して行
く事が近道です。まずは身近な仲
間やリーダーに声をかける事が今
最も必要です。

45年前、悲惨な透析患者のため
一隅を照らした灯は、その後全国
を燎原の火のごとく広がりました。
今また困難な情勢を迎え石中の火
をどの様に点火するかが課題です。
時代に即した火を求めて絶えず挑
戦していきたいと思えます。

会員の皆様には、何卒ご支援の
ほど宜しくお願いいたします。

患者同士の交流・親睦を図る活動をすすめよう



写真左から、吉田ブロック長、藤田会長、梅原副会長、小野副会長、岸里事務局長

2014年



新春座談会

命と暮らしを守る活動をすすめよう

三役・ブロック長



写真左から、司会の板橋編集長、戸倉副会長、石井ブロック長、榊原ブロック長、宿野部ブロック長代行

目

2014年 新春座談会

次

200号

三役・ブロック長	1
リレーエッセイ	9
200号記念投稿 私と東腎協	12
秋山 充	13
須賀康晴	13
なかまのたより	10
活動のまど	14

2014年度

都庁予算要請への回答	16
透析バンザイ	18
事務局から・編集後記	22
30年透析会員のお名前	表4

患者さんの目線、代弁者として

明けましておめでとーびーびーします



司会 明けましておめでとーございます。昨年は異常気象や災害も多く、大変な一年でしたが、今年は良い年であることを祈念して座談会を始めたいと思います。では、簡単に自己紹介からお願いします。

岸里 会員の皆様、日頃の東腎協の活動、会員拡大や国会請願など大変だったと思います。が本年もよろしくお願い致します。事務局長の岸里です。

小野 副会長の小野です。私は患者会の活動を、最初からしっかりとやろうと思ったわけで

はなくて、徐々に東腎協や全腎協の活動に関わってきました。活動は「こうあるべきだ」という前に、今自分が出来る最大の努力だけはやって行こうと、そんな思いです。

梅原 患者会の会長をしておりますが、最近80才以上の新患が多く、患者会に入ろうという意思がなくて、今年も会員数は±0という状態です。

藤田 昨年、木下前会長の後を継いで新会長となりました。しかし、就任直後から体調を崩して、皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。今後とも頑張りますので、宜しくお願い致します。

私は東腎協経験、理事会の中での経験が浅いので、これから皆さんと共にいろいろな事を学んでいきたいと思っております。よろしくお願いします。

吉田 今年で透析20年になります。私の患者会では看護師さんが好意的で、新しい患者が来るとすぐ会長の私に連絡をくれます。まだまだ少ないですが、徐々に会員を増やして行きたいと思っています。

宿野部 中南部ブロック長代行と青年部部長をしております。透析患者全体では圧倒的に高齢者が多いわけですが、その中でも若い患

出席者



藤田 吉彦 (ふじた よしひこ)
東腎協会長、1943年東京生まれ、1999年透析導入 (小池会)



榊原 靖夫 (さかきばら やすお)
北部ブロック長、1942年新潟生まれ、1995年透析導入 (高中腎友会)



小野 誠 (おの まこと)
東腎協副会長、全腎協副会長、1941年12月生まれ、2001年透析導入 (吉祥寺あさひ腎友会)



吉田 芳子 (よしだ よしこ)
多摩ブロック長、1950年茨城生まれ、1994年透析導入 (南大沢パレオ腎友会)



戸倉 振一 (とくら しんいち)
東腎協副会長、地域腎友会委員長、災害対策委員長、1959年東京生まれ、1998年透析導入 (森山友の会)



石井 虎二 (いしい とらじ)
東部ブロック長、1941年生まれ、2002年透析導入 (瑞江腎クリニック腎友会)



梅原 秀孝 (うめはら ひでたか)
東腎協副会長、1938年東京生まれ、2004年透析導入 (府中けやき会)



宿野部 武志 (しゅくのべ たけし)
中南部ブロック長代行、青年部長、1968年埼玉生まれ、1987年透析導入 (腎内科クリニック世田谷)



岸里 悟 (きしさと さとる)
事務局長、1962年東京生まれ、1996年透析導入 (森山友の会)



司会 板橋 俊司 (いたばし しゅんじ)
編集委員長、1950年東京生まれ、2005年透析導入 (日野クリニック腎友会)

者さんが、これからどう患者会に関わって行くかが患者会の未来を担うことにもなり、私も一緒に頑張っていきたいと思っています。ブロックの方は先輩の理事の方に教えを請いながら、これから繋がりを持って頑張りたいと思っています。

榊原 東腎協の活動に関わって16年になります。この間、いろいろな活動をしてきましたが、患者さんの目線、代弁者として、今後とも東腎協活動に何らかの役割を果たせたらと思っています。

石井 3年前に一度東部ブロック長をやりました。

患者会の実態を役員の共通認識にして ブロック活動と腎友会活動の課題

司会 ありがとうございます。さて、東腎協は4つのブロックに分かれています。各ブロック長さんに、ブロック内の患者会の活動内容や会員数、施設数、行政との関わりなどの話をお伺いします。

石井 東部ブロックの理事は7人でオブザーバーは2人です。7行政区ありまして患者合計は1150人です。活動は年2回交流会をやっています。昨年は防災体験ツアーとか学習会をやりました。

今年度の目標としては、ブロック内の未組織施設をローラー作戦で回ってみようと思っています。東腎協会長名で挨拶文を送っていて、一週間ぐらいでアポイントを取る。そ

して、今回また選ばれた訳ですが、誰かがやらないと成り立たないという事でやらしていただいております（笑）。宜しく願います。

戸倉 私は平成10年から透析導入しまして、それからは青年部活動を中心にやってきました。当時はスキーや旅行など結構活発に活動していたので、今の青年部にも頑張ってもらいたいと思っています。まだ仕事もしておりますので、私のできる範囲で、出来る限りのことを今後ともして行きたいなと思っています。

うすると、結構反応あるんですね。昨年末新設のクリニックには、知ってる患者もいますので、何とか患者会の設立が出来ればいいと思っています。

藤田 東京全体の施設数が約400。東腎協が113施設で、そのうちの28施設が東部ブロックにあつて、25%近い組織率ですから、ほぼ平均ですね。

榊原 北部ブロックの患者会は23施設です。理事は2人でオブザーバーが1人、理事の不足が大きな課題となっています。休眠・解散患者会が多く、後継者の不足と育成が出来ていないのが実情です。みんなで対策を考えて行かなければと思っています。

ブロックの目指している活動としましては、各患者会からの意見・要望を集約する事と、東腎協、全腎協の方針をしっかりと患者会に伝えていく事だと思っています。

交流会で、これからの患者会活動に活かすため、東腎協の歴史を学んだのですが、非常に有意義でした。また最近では、陰で患者会活動を支えている人たちにスポットを当て、感謝状を贈りましたが、とても好評でした。

宿野部 まだ中南部ブロック長代行です。不勉強ですが、患者会は21施設で担当の理事は3人です。しかし、そのうち二人が東腎協会長、副会長ですので、実働部隊は私一人という現状で、理事の補充が一番の課題です。

活動としては、昨年、「お喋りをしながらの食事会」を行いました。また指圧の先生をお呼びして学習会を行い好評でした。昨年末に予定していた正会員会議が中止になったので、早急に正会員会議を開催し、今後の体制や活動方針を検討したいと思っています。施設に行つて、患者さんや先生と会って交流する事がブロック活動では大切だと思いますので、地道に実践したいと思っています。

藤田 私も中南部の前ブロック長でしたので私の責任でもありますが、人材の開発、後継者の育成が遅れました。まず患者会の実態を役員の共通認識にして、今後の活動の第一歩にして行きたいと思っています。

吉田 多摩ブロックは地域が広いので3つのグループになっています。患者会数は約50で

すが、他ブロックと同じように、休会・解散もあり、会員数は横ばいです。東京の会員(約4300人)の半数近くが多摩ブロックで、施設組織率でも約50%位です。

活動としては、年2回の学習会、正会員会議、「多摩だより」というニュースを発行しています。

司会 東京には、ブロック活動とは別に地域腎友会がありますが、委員長の戸倉さん、ご報告してください。

戸倉 地域腎友会は、主に東腎協の会員が構成員となつて、区市町村単位で組織されている患者会で、対応する行政などへの要望と患者会同士の交流などを中心に活動しております。現在8つの地域腎友会がありまして、江



地域腎友会交流会

東区、江戸川区、荒川区、板橋区、葛飾区、墨田区、足立区、八王子市にあります。しかし役員・後継者不足で、町田市は休会、練馬区、世田谷区は解散しました。

地域腎友会の主な役割で、一番大事なのは災害対策だと思います。災害時は可能な限りの方法で透析施設と連絡を取ることが基本ですが、どうしても施設と連絡が取れないときに、次に頼りになるのは区市町村ですから、そのレベルでも対策を取っておくことが大切だと思っています。それと、東腎協、全腎協の活動の柱でもある「CKD対策」を地域の中で広めていく事、福祉手当の充実、通院の

患者会がなくなると他県のように自己負担が発生する

東腎協・全腎協の活動

司会 それでは、ただ今の各ブロックや地域腎友会の報告を踏まえて、全腎協、東腎協全体の現状についてご報告願います。全腎協副会長の小野さんいかがですか？

小野 5年前に法人の法律改正がありまして、社団法人の中で好ましくならぬ団体が発生して来ていて、それを正すという事から、公益社団法人と一般社団法人という2つの法人への移行が法律として決まりました。その法人移行の締め切りが昨年の11月30日で、全腎協は一般社団法人への移行を申請いたしました。法人移行が認可されるという前提で申し上げれば、本年の4月1日が新法人としての設立

確保など、草の根の活動を地域の中でやっていく事が大切だと思っています。

また、会員拡大でも、患者会と東腎協の繋がりがだけだと、どうしてもコミュニケーションがとりきれない、横の連携を深める意味でも地域腎友会の意義はあると思います。

司会 地域腎友会の交流はあるのですか？

戸倉 年1回「地域腎友会交流会」をやっています。それぞれの活動報告や交流をしています。地域腎友会は、今は東腎協の組織には組み込まれていませんが、今後の課題として、もっと地域腎友会づくりを強化していく必要があると思っています。

日となり、それまでに新体制を考えて行かねばなりません。内閣府としての一般社団法人認可への姿勢は、全腎協のガバナンス(指導性、統治)、コンプライアンス(法令順守)がしっかりしているかどうか問われています。全腎協は47都道府県の県腎協の集合組織で国との交渉機関ですが、いままでは、県腎協に対してガバナンスを発揮しにくい組織でした。その方向を変える必要が出てきました。また、財務体質についてですが、全腎協の主な収入源は会費で、今日減少傾向にあります。したがって、集中と選択ということが必要になります。何に資源を集中し、何はやる

何はやめるといふ方向をハッキリさせなければなりません。全腎協では財務委員会を作つて、新たな予算編成を含めて資源投下を検討し、県腎協に対しガバナンスを発揮して行く必要があります。各県腎協の考えはあるでしょうが、全腎協の活動に関しては、一定の理解と容認を念頭に入れて一緒にやって行く事が重要になっています。そのことが今後の全腎協の活動の広がりになると思います。

司会 その中で、東腎協の果たす役割とは何でしょうか？

小野 率直に言つて、地方の理事が活動すると、交通費とか宿泊費とか東京の理事の10倍、20倍の経費が掛かります。東京近辺の理事がもっと積極的に活動しないといけないと思います。



2013国会請願

ます。また、会員数から見ても25%以上の会員が関東ブロックに属していて、全国約30万人の患者数から見ても3分の1以上が関東ブロックです。しかし、現在関東ブロックからの選出理事は私一人です。それで会員の声、患者の声を全腎協に反映させることが出来ますか？ というのが私の意見です。地方の役員が要らないと言うのでなく、同じ活動するのなら、経費はなるべく掛けないことが全腎協にとって必要な事だと思います。

司会 では、東腎協の現状はいかがですか？

岸里 1967年に人工透析は健康保険の適用、72年に東京都の医療費助成制度（マル都）、74年に心身障害者の医療費助成制度（マル障）、84年特定疾病療養受領証等々の制度を使って、無料の透析医療が確立されました。2000年までは黙っていても会員が増え、この年に7、113人の会員がいましたが、2013

年末現在では約4300人と減少し、会費収入も減少しております。従つて、活動費の不足が大きな問題となっています。

新たな問題としては、透析医療の進歩で長く生きられ、運動器障害に見られるような口コモティブシンドロームの患者や、通院送迎の患者も増える、高齢者が多くなることで合併症も増えています。CKDの透析予備軍も約1330万人といわれ、患者の高齢化の中で患者会の存在意義がますます重要になっていと思っています。患者会がなくなると、他県のように自己負担が発生します。従つて、会員減少、会費の減少があつても、要請活動、広報活動だけは今後もやって行かなければならない重要な活動だと思っています。

40年前に遡つて、金の切れ目が命の切れ目にならないよう活動して行かなければなりません。

活動の内容、質、信念や理念が問われている 東腎協の当面の重点課題



司会 ありがとうございます。さて、全国の会員数は患者総数の約30%の組織率で、東京の組織率は14・4%と聞いておりますが、全腎協から東腎協への期待、東腎協の果たす役割について、藤田会長いかがですか？

藤田 会員数の減少については、財政の面からも発信力の面からも大きな問題ですが、社会環境の変化や患者の高齢化など、我々の力

だけではどうにもならないことも要因だと思っています。

ですから、今の時代は単に数に頼るというより活動の内容、質、信念、理念が問われているのではないかと思います。今ある患者会を中心に、ブロック活動など地域に根差した活動が重要ではないかと思います。財政問題

では、賛助会員の拡大や寄付など会費以外の財源を追求する事ではないでしょうか。

そのためには、事務局の強化と理事会をはじめとした役員の質の向上、人材の育成は大切です。また、学習会や研修会を通じて、組織の活動の質・レベルを上げて行く必要があると思います。

司会 会員減少の主な理由はなんですか？

岸里 毎年3、4%減少していますが、大き

患者会活動の「やり方」をもつと交流して

休眠、解散、会員減少…後継者がいない



司会 役員がいない、後継者がいないという事で、解散するような患者会もあるのですか？

岸里 ここ数年では、15患者会ぐらいで休眠とか解散がありました。一番の原因は、会長さんが一人で頑張っていたとか、高齢化の問題で次に引き継ぐ人がいないとか。数十人単位で減少するので、他の患者会が少しずつ会員を増やしても追いつかないのが実情です。この事が会員減少の大きな要因だと考えます。

司会 全国的な傾向はどうなんでしょうか。

また、対策はどうなっていますか？
小野 会員募集は各県の専有事項です。全腎協にも入会の問い合わせ等ありますが、患者さんの在住地域の県腎協を紹介するだけです。今後の仕組みとして、どう考えて行くのか、全腎協として指導性を発揮すべきなのかどう

な理由は会員の高齢化です。患者総数は増えているのですが、透析導入年齢がだんだん上がっているのが現状です。

藤田 糖尿病性腎症からの透析患者が多くなってきた、高齢化しています。若い患者は、会員として何かするというインセンティブ（やる気、動機）があまり無いですね。（一同頷く）
吉田 私の病院でも最近来た人は、70、72、75歳とほとんど高齢者です。

か検討しなければなりません。この先県腎協が現在の活動を維持できない、というような事態が発生した場合、どの様にするか。この課題に対しては、全腎協として全国を9ブロックに分けている活動に対しての課題でもあります。

司会 東腎協は一昨年40年史を発行しましたが、歴史的には患者会の解散・休眠など組織問題はどうかだったんですか？

戸倉 私が組織対策委員長の時に、過去何年間の患者会の組織推移を調べたんですけど、いつの時代にも後継者問題はありましたね。それが最近特に顕著になってきたということだと思います。

透析患者の年齢構成については、透析導入年齢が上がって若年層は減っています。65歳

くらいまでは平均ですがそれ以上になると急激に増えています。

小野 CKD対策や糖尿病対策が進んで発症が遅れてきた結果だと思っています。しかし患者総数は増えているのです。

石井 高齢化問題もあると思いますが、新しく入ってくる人の意識改革が全くできていない。今は透析環境が恵まれすぎていて、患者会に入る事のメリットを聞かれるんです。月約40万円、年間500万円近い医療費が基本的に無料なのが何よりもメリットで、このメリットを創り出したのは患者会の活動だったというそういう意識が無いんです。当然だと思っているんですよ。

梅原 私の病院では、個人情報問題もあり、



臓器移植推進キャンペーン（上野公園）

患者情報を掌握する事はなかなか難しい面もありますが、病院やスタッフとコミュニケーションを密にして、新しい患者さんに患者会の話をしています。

吉田 私も梅原さんと同系列の病院ですが、看護師さんや主任さんが新しい患者さんを紹介してくれて、最近3人入会してくれました。病院のスタッフと仲良くするのは大切ですね。

藤田 先程も話になりましたが、リーダーのなり手がいない、後継者がいないという事が一気に患者会の解散、休眠に繋がるわけです。現リーダーの方が、自分の在任中に次の人材を育てるという事が何よりも大切だと思います。

小野 それと、複数の役員体制をつくる事で



臓器移植推進キャンペーン（銀座）

す。会長一人だけでなく、一人でも二人でも役員をお願いし、機関誌を配ることやチラシを配ることなど、少しずつ活動を理解してもらって次のリーダーになってもらうことです。

私の患者会では11人役員がいますが、毎月役員会をやって、3、4か月先の例会の打ち合わせなどしています。仮に私が辞めても後任の会長は心配していません。国会請願署名も会員だけでなく、全患者に署名の趣旨、患者会の役割を説明しながらお願いしています。

司会 患者会が解散する要因として、リーダー不足、高齢化等もありますが、患者会活動の「やり方」が分からないという事はないんですか？ ブロック活動を、患者会活動の経験、交流の場、情報交換の場としてもっと活用したほうがいいのではないですか？

藤田 限界はありますが、患者会の現場に理事が行って話を聞いて、何らかの対策が打てれば大きく変わると思います。

榊原 北部ブロックも後継リーダーがいなくて、解散する患者会がほとんどです。透析が

リーダーの情熱が後継者に受け継がれて

私心を捨てボランティア精神で行動する

司会 さて、組織拡大はなかなか厳しい情勢ですが、経験豊かな役員が後継者をどう育成するか、我々東腎協の役員の役割と任務は何なのでしょう？

戸倉 私の地域腎友会「さつき会」では、歴

長い人は、患者会に入って役員をやる事の大変さを知っていて、「役員にならなくてもいいなら入会するよ」という人もいるくらいです。結局、患者会が解散の危機にあるようなときに、手を挙げる人がいなくてそのまま解散する。小野さんが言われる様に、日常から後継者を育てることを、方針の柱として位置づけたいと思います。そういう意味でのブロック活動での交流、情報交換、励まし合いというのは重要だと思います。

また、東腎協や全腎協と、病院の患者会の目的や意義は少し違うと思うんです。この棲み分けをしっかりと、「命と暮らしを守る」活動と「患者同士の交流、親睦を図る」活動の両方をやらなければいけないと思います。

小野 会員は会費を払う事で、政策や社会的対応は東腎協、全腎協に付託してらんだらうと思うんです。ですから、全腎協や東腎協は診療報酬や福祉制度など社会的課題に対応し、患者会は患者に関わる交流、親睦を中心に行けばいいと思います。

代の会長の森田さんや原さんが立派な方で、「私心を捨て、ボランティアの精神で行動する」ことを学び、感銘を受けました。その後、岸里さんや須賀さんなど若い人たちと、東腎協の活動や地域の活動、青年部の活動を通じ

て、私も育てられたのだと思います。

課題はたくさんありますが、国や都との交渉は全腎協、東腎協にまかせて、身近な地域のことからやっていくことが大切だと思っています。

榊原 後継者の引継ぎがうまくいけば、江戸川区のように上手くいくんだと思います。現在のリーダーの情熱が後継者に受け継がれて、今日に至っているのではないのでしょうか。

小野 患者会も会社や他の組織と変わらないと思います。次の後継者をどうやって発見し、一緒にやっていくか、それしかないと思います。

司会 東腎協の財政問題はいかがですか。

藤田 会員増を前提とした財政改善は意味な



ブロック学習交流会

いと思います。会費以外の収入、賛助会員とか寄付金だとかそういう活動を強化しなければならぬと思います。また、一方で使い方にしても先ほど言われたように集中して、目的をはっきりさせて効率的な使い方をしている必要があると思います。

司会 今日話された内容も、すべての役員が同じ方向を向いて行動すればよい結果が得られると思いますが、役員の意思統一はどうし

ブロック活動で人材発掘

仲間意識の高揚が東腎協を強くする

小野 多摩ブロックの正会員会議で、5、6

人のグループに分かれて会議をしたことがありました。すると、一人ひとりが良く見えて「この人はよく考えているな」という人が発掘できるんです。後にきちんとアプローチをしていけばブロックの強化も図れると思います。

司会 人材発掘の意味でも、ブロック活動はますます重要になってくるということですね。

梅原 多摩ブロックでは今年の例会で、理事と会員との話だけでなく、ブロック内の元気な会員さんの体験発表を中心に勉強会を企画しています。裾野を広げて、新しい役員を発掘したいと思っています。

宿野部 中南部では、昨年できなかった正会員会議を早急に開催して、新しい理事候補を探るのが重点です。

たらいいんでしょか。

戸倉 役員の育成は、研修会をやっても、育たないと思います。一緒に患者会や地域や行政など一緒に回って、生の患者の声を聞いて、連帯する、そういう活動を通じて初めて育っていくのではないのでしょうか。こういう活動は結構楽しいんですよ。私の体験ですから間違いないです（笑い）。



また、青年部のことですが、現在部員は少ないんですが、出来ることを無理なくやって行こうという活動ですので、ぜひご理解とご協力をいただきたいと思います。若い患者は皆さんネットをやっているんですね。ネット交流など新しいコミュニケーションなどを活用して行こうと思っています。

司会 ありがとうございます。駆け足で約2時間お話をいただきましたが、以上を持って、新春座談会を終了させていただきます。長らくお疲れ様でした。

今年一年、われわれ役員がと力を合わせて東腎協の発展のために頑張っていきましょう。

リレー エッセイ

私は十九歳から商売を営み現在では建築業と音響機器の販売、主にカラオケ機器を取扱いしております。振り返りますと泣き笑いの毎日でございましたが六十九歳の現在でも現役で頑張っております。おかげさまで透析を始め五年経ちますが、まだ透析との診断結果を聞いた時の落胆を思い出します。「人間違いではありませんか」「先生私は田崎勲ですよ」と担当の先生に問い詰めましたが、担当の先生からの返答は変わらず私にとって「死の宣告」と同様でした。どうしても認められない私は、翌日から他の病院を回りましたが全ての病院での答えが私にとっての「死の宣告」でした。

それから一か月遅れで「シャント」を受けましたが当時の私は何も知らずに、「担当の看護師は下

みんなでがんばり、 この制度を守ろう

手な人ばかりだな」「三回も四回も針を刺しやがって」などと悪たれを吐く日々が続きました。その後、三か月くらい経つと一回で針が刺さるようになり、看護師さんの努力を知った時に自分の愚かさを知ったのです。

実は私の血管は深く細い欠陥品質でした。それなのに看護師さんは文句を言う私の為に痛くないように努力してくれたのです。今では百パーセント信頼しており、他の看護師さんに代わらないようをお願いしているぐらいです。「看護師さん、感謝しております。それと申し訳ございませんでした」。

私は透析を「スーパー・エステ・クリニック」と考えております。内面から外見までを医者様に診察してもらい、悪い所を取つてもらい週三回、一日、四時間のビッブ会員です。

透析は一年間で四百八十万円の費用がかかります。国や東京都が苦しい財政から出してもらえない制度です。この制度を頂いた先人達に報いる為にも、みんなで患者会の仲間に入つて頂いて頑張りこの制度を守りましょう。

病院の先生方、看護師さん。これから宜しくお願いいたします。

田崎 勲さん

透析5年

NPO東腎協理事会 オブザーバー
新小岩クリニック友の会・船堀



日時：2014年（平成26年）3月16日（日）14：00～16：30

場所：都民ホール（東京都庁議会棟1階予定）定員200人

講演① 「CKD（慢性腎臓病）について詳しくなろうー腎臓をまもるために」（仮）
講師：菅野義彦（東京医科大学病院腎臓内科主任教授）

講演② 「慢性腎臓病（CKD）」（仮）
講師：坂本香織（女子栄養大学管理栄養士）

総合司会：山下吏良

主催：NPO法人東京腎臓病協議会 共催：東京都（予定）

第25回腎臓病を考える
都民の集いのご案内



紅葉観賞バスハイク

坂本悦男

(東海病院ひまわり会)

11月10日、総勢37名。当初40名の参加予定であったが、事前に体調不良のために2名、当日1名の不参加となり37名でした。行程は8時15分に東海病院を出発し、河口湖の紅葉回廊を目指す。途中ワイナリーにて山梨の味を堪能し、昼食には「ホウトウ御膳」、帰路に浅間神社に参拝して忍野八海を巡り練馬に戻る、と言うものでした。

天気予報は前日の晴天から一変した雨模様とのことで、世話役の日頃の精進が疑われたのでありませんでした。また、多く居た雨男、雨女の魔力のために、富士山は拝めた

のですが、河口湖に着くところに急に雨模様。風も少し出てきて、雨は雨女のいる側から降ってくるではありませんか。どうしたものかと先行きを思い富士山の神、木花咲や娘に天気回復をお願いしますと、何と雨雲は流れ去り30分後に太陽までも顔を出す、という旅行日和と変わりました。天気さえ良ければ全て良し。ワイン試飲も効き、車中に用意した菓子、アルコールの効果もあり、また車中での「じゃんけん大会」盛り上がった一日となりました。紅葉も良かったです。

今回の旅行には、東海病院からも江本病院長含め、職員の方々18



ひまわり会バスハイク

名が参加してくださり、病院、患者会が一体となって楽しむことが出来ました。非日常。いつもと違う一日が本当の気晴らしになりました。

集合写真は、富士山を背景に入られて撮りました。参加した美男美女に富士山も遠慮して恥ずかしげに頭を隠しております。何はともあれ、全員無事に一日を過ごし、翌日からの透析にも元気に向かいあっております。

「望年会」やりました

杉本 聡

(日野クリニック腎友会)

日野、豊田クリニック合同望年会開催の報告。

12月8日日曜日に第3回望年会を実施いたしました。日野クリニック14名豊田クリニック3名ゲスト3名の20名の参加でした。透析のクリニック、曜日、時間帯が違う方々が一堂に会し大いに盛りあがりました。

冒頭、板橋会長の挨拶でスタートしました。美女に囲まれて流暢(?)な話は、

1. 増税を前に透析の膨大な医療費はもう限界にきている。自己負



日野・豊田クリニック忘年会

担も考慮し、会員の結束が急務である。

2. 新会員を増やし、他の腎友会とも連携をとって、もっと活動を盛り上げていきたい。

3. この1年を忘れるより、感謝して来年に希望をつなぐ会「望年会」にしたい、という内容でした。

さらに会長のご尽力で移植後13年の方をゲストにお呼びし、貴重な体験談を聞いたのはとても有意義でした。最後の恒例のビンゴ大会では、会員の方のそれぞれの性格が垣間見れて、お互いの、垣根が低くなったのは間違いありません。そして有志による2次会では、カラオケを歌って発散し、来年度

の活動予定、日帰りバス旅行、海外旅行など話がどんどん広がり、また1年頑張ろうという雰囲気でも終わりました。なお日野クリニックでは、この「望年会」で2名の方が新たに患者会に入会しました。最後に運営にあたられた会長、スタッフ各位に感謝するとともに、5キログラムオーバーで自己嫌悪に落ちいった皆様、2014年も明るく頑張りますよ！

● 秋の旅行会

岩上建美
(練馬桜台クリニック腎友会)

例年、楽しみにしている秋の旅行が11月17日曜日に実行されました。

患者34名、クリニックスタッフ8名でバスは満員です。本日の目的地は今年6月に世界文化遺産に登録された富士山と、三保松原です。東名を快走しているバスの窓より、富士山が五合目くらいまで雪をかぶり、頂上より裾野まできれいに見えました。

三保の松原も、以前は空いていた駐車場もバスで満杯状態です。車いす使用の方も1名参加されていました。長い砂浜は無理のよう



練馬桜台クリニック旅行会



に見えましたが、クリニックの技師長さんや、3、4名のお手伝いで全員の記念写真を撮ることができ、海

越しの富士山は最高でした。清水港内でランチクルーズをして、清水エクスパレスミュージアムで買い物。最後の観光地、日本平に着きましたが、富士山は雲の中に隠れ、ただの丘になったのはちょっと残念でした。

帰りの東名は混雑して、練馬着は9時過ぎ。今日一日充実した日曜日でした。



青年部ボウリング大会

● 青年部 ボウリング大会

青年部部长 宿野部武志

(腎内科クリニック世田谷患者友の会)

さる2013年12月15日(日)、池袋にて青年部主催の「ボウリング&忘年会」が開催され、会場になった池袋のハイパーレーン(障がい者割引有り)には14名の方が参加されました。

受付時にクジ引きで決まった各レーンでは会話も弾み、一投一投に歓声と悲鳴(?)をあげつつ楽しみながら交流を深めました。

2ゲームを終えてからは、場所を変えて忘年会へ。自己紹介を交えながら、美味しい料理を堪能し、

途中待ちに待ったボウリングの結果発表でも盛り上がりました。

青年部では今年も会員の皆さまにとって有用な情報提供(学習会等)と交流、興味感心に沿った企画を実行していきたいと思っています。また、出来る範囲で共に活動していただける仲間(50才位迄)を大募集していますので、お気軽に事務局までお問い合わせください。

● 投稿 短歌

埼玉県みさと健和クリニック
藤本美智子

病越え

今日も生きてやるぞという声の

あなたに会える透析日

*意識がなくなり、気が付いたら透析をされていたという患者さんが「透析人生は、もうけもの人生と思って生きている」と言われた心情を詠みました。

● 投稿 川柳

佐藤志郎

灼熱の街にオアシスミント浴び
浮き沈みまるで人生血圧値

私と東腎協 ①



秋山 充さん (72)

新江東橋クリニック腎友会 (透析8年)

生まれも育ちも
下町錦糸町だそうですね？

生まれも育ちも下町の錦糸町で、小学校、中学校、高校まで元氣な野球少年でした。まさか自分が人工透析するとは思ってもみませんでした。野球部がよく負けると「秋山！継続は力なり！練習、練習！そして強くなれ！」と叱咤激励されたことを今でも思い出します。

透析導入は？

高校卒業後、一時観光バス会社で働きましたが、姉が経営していた「スナックバー」を姉の結婚を機に私が継ぎました。

10年くらいして、友人が食品会社を創業するといので、入社して営業を担当。ちょうどバブルの時期で、東北、北陸、関東近辺を

担当し、月に10日くらいは出張の毎日、一番楽しい時、苦しい時でした。帰れば子供も3人いて、食わせるためには休んではいられませんでした。

自分はお酒は血統で弱かったのですが、いつの間にか「酒なら何でも来い」の酒豪に。二日酔いでもサウナで酔いをさまして…。タバコも一日40本、身体に悪い事ばかりしていました。

そんな時、会社の健康診断で「血圧が高い」「尿タンパクが出ている」「クレアチニンが高い」と言われましたが、忙しいと逃げて病院にも行きませんでした。しかし、ますます体調も悪く、足も上がらない。病院へ行くと「水が溜まっている」と、シャントを作り三日間かけて10キロの除水をして透析生活が始まりました。それから早いもので8年経ちました。

どんなクリニックですか？

墨田区にある青湘会グループの新江東橋クリニックでお世話になってます。青湘会を創立した星野院長は、都立墨東病院に長年勤められ「腎臓病の権威」と言われた方で、定年退職後、新江東橋の院長になりました。青湘会グループ本部の先生方は充実していて、外科の畠山先生や内科の先生もいます。

どんな患者会活動を
していますか？

新江東橋の先生に、「歩きなさい」と言われ、それは自分のためになることと思って、患者会で年3回「歩こう会」をやっています。15人くらいの会ですが、都電乗ったり、バス乗ったりして街中を散策するんです。また、年間行事として、年1回「日帰り観光バス旅行」「新年会」「お花見会」などもやっています。個人では、透析明け日は2キロ歩いて、近くの都立猿江公園で植花と林を見ながら、季節の変わりを楽しみ行っています。先日は、青年部のボーリング大会に参加して「150」出し、少し自信を持ちました。会員の皆様、これから冬本番ですが、歩く体が温まります。スポーツや体を動かして頑張りましょう。

私と東腎協②



須賀康晴さん (63)

瑞江腎クリニック腎友会 (透析5年)

◆ 子どもの時から
大病を患ったんですね？

2、3歳の時に、リュウマチ熱から肺炎になって一時危篤状態になりました。そして心臓弁膜症、小児喘息等になりました。尿たんぱくも10歳の頃より出ていました。とにかく散々な子供時代で、いつまで生きられるのかなと思っていました。

◆ 透析導入は？

28歳のとき弁膜症の人工弁置換術を行い、50歳のとき急性膀胱炎を患い、58歳のとき大動脈弁の置換手術を行いました。成人してから3度の大病の結果腎不全になり、58歳より透析になりました。

透析開始前は一日中体がだるく、ずーと横

になっている毎日でした、妻や子供たちには入院のたび面倒を見てもらい協力してもらいました。子供の頃より病弱だったので58歳まで長生きできたのだから、もう思い残すことはないと思いました。

◆ 透析してからは
どうでした？

5年前、江戸川区の瑞江腎クリニックで透析を開始しました。1ヶ月ぐらいうると少しずつ体が楽になってきました。それとともに透析の仲間とも少しずつ話ができるようになりました。30年以上透析している人も何人もいました。病院開設時から通院をしている生き字引みたいな人もいます。

私は体重コントロールが苦手なんです。つい食べ過ぎ飲みすぎで体重オーバーしてしまします。先輩から「除水が多くなると自分自

身が辛くなるよ」といつも叱られて、自分が甘えていたことが分かりました。

◆ 薬局を経営されて
いるんですね？

大学が薬学部だったので、卒業後薬局に勤めていたのですが、2、3年で心不全を起こして退職。自分で薬局を経営するようになりました。現在3店舗経営しています。息子が後を継いでくれるので安心して透析にも行けます。

また、ケアマネージャーとして在宅介護のお手伝いをしています。「江戸川区ケアマネージャー連絡会」の理事長もしています。自分が患った心臓病、腎不全、膀胱炎、糖尿病等の経験を生かして、ほかの患者さんの相談に乗ってあげたいと思っています。

◆ これからの夢は？

透析の仲間の人と話をしているうちに、自分もあと10年、20年透析を続けられるように頑張ろうという気持ちが湧いてきました。足腰を鍛えるために、年に2、3回は温泉などに行っています。いつか、旅行透析で一週間ぐらいかけて京都辺りに行ってみたいです。

患者会の仲間との出会いが、私の人生を夢のあるものにしてくれました。これからも、よろしく願います。

とうじんきょう 活動の まど

東腎協北部ブロック

「患者会活動を支える
陰の尽力者・功労者へ
感謝と慰労の意を込め
た懇親会」

日時…平成25年10月13日(日)
11:30～13:30
会場…和食レストラン「天狗」
西台駅前店

参加者…島貫(赤羽中央総合病院腎友会)、三井名、吉田(あかまつ透析クリニック)、上垣(阿佐ヶ谷すずき腎友会)、松崎(小豆沢病院透析友の会)、塚田(新中野フェニックス会)、田辺、若木(高中醫友会)、隅田(高松病院)、山崎、田川、桧貝(東海病院ひまわり会)、天野(豊生会)、岩上、小野崎、高野(練馬・桜台クリニック)

東腎協第2回 東部ブロック交流会

日時…平成25年11月3日(日)
13:30～16:30
場所…江戸川区グリーンパレス

平成25年度東部ブロック第2回交流会が、39名の参加で行われました。

午後1時30分より、田崎オプザバーの司会で始まり、石井ブロック長の挨拶に続いて、災害対策

ク)、宮下(優人大泉学園クリニック)、石山(個人会員) 18名
北部ブロック長 榊原、理事 古木、坂本3名 合計21名
定刻より、少し遅れて古木理事の司会で開催しました。

北部ブロック長挨拶で藤田会長が入院をして本日は欠席しますとの旨を伝え、参加者の自己紹介へと話しが進みました。その後、参加の各腎友会役員へ感謝と慰労の感謝状を渡しました。出席出来なかった患者会は郵送で送りますと

DVDの観賞、戸倉東腎協災害対策委員長のミニ講演があり、各施設の災害対策についての情報交換を終えて、第1部は終了。

休憩を挟んだ第2部の懇親会では、参加した一人一人が自己紹介を行い、親睦を深めました。

続いて、東部ブロックの活動に對し、要望など意見交換を行いました。「いつもと違った活動、たとえばカラオケ、旅行など娯楽的な活動をやれば、もっと盛り上がるのではないか?」との意見をいただき、会員の皆さんの望んでいる様子が分かり、今後の課題にしたいと思いました。

参加報告

2013年度全腎協 通院介護研修会

理事 古木直之

日時…平成25年11月9日(土)
～10日(日)
会場…大森東急イン5階
オークルーム

参加者…正会員27名、理事4名、実行委員3名、オブザーバー2名、事務局2名、合計38名



今回の交流会では、手際が良く、手伝っていただいた理事、オブザーバーに感謝します。ありがとうございました。

第1部は「通院送迎の基本、背景」について金子委員長と小山事務局長が説明された。

第2部は、「無償」送迎について、大島町の事例が報告され、「福祉有償運送」の送迎についての活動をNPO法人支援の会ひまわり理事長小泉邦昭氏より報告された。最後に「デマンドタクシー」について長岡市福祉デマンドネットワーク研究会代表世話人馬場亨氏より説明がありました。

2日目は、10日(日)午前9時

ブロック長から発言がありました。昼食へと進んだ結構ボリュームのある御膳でしたが、皆さんほとんど食べていきました。

情報交換で、各腎友会の会費の話が出て600円から2600円まで色々な数字が出ました。一番低い所は、年600円、一番高い所は、年2600円という結果

第74回 全腎協関東ブロック会議 イン埼玉

報告 岸里 悟

日時：平成25年12月7～8日(土・日)
場所：浦和ワシントンホテル
参加者：小野、梅原、岸里、宿野部
全体では52名

第1日目は、戸張郁枝理事(埼玉)の司会進行で、はじめに開催県の清水武志会長より挨拶、続いて小野関東ブロック長の挨拶がありました。

議長に小野寺史子事務局長(埼玉)選出、はじめに全腎協・今井会長より「全腎協の現況と今後の活動について」続いて小野関東ブロック長より全腎協活動報告があ

になりました。

昨年、北部ブロック交流会の時、陰で活動している目に見えない縁の下の力もち的な方達に感謝状を渡したかどうか、と質問された方がいましたので、今回初めて開催しました。18名の方達に集まってもらい大変盛り上がりま

りました。

その後各県の活動報告があり、東京からは岸里が発表した。次に各県からの提案議題を討議した。

第2日目は議長に藤田安広副会長(埼玉)を選出、前日の提案議題の続きを行った。

活動結果または今後の展開

どの県も組織拡大に対して解決方法を見出せないでいる状況は前回と同じであった。

組織拡大にはどの県も苦労されていて万策尽きた感がありますが、何もやらなければ会は衰退するし患者組織がなくなれば、今までの医療制度の恩恵は崩れる事になる、やはり患者会は絶対必要で、今後要請活動や広報は続けていかなければならない。

から開始され、「介護保険と施設」についてNPO法人富山県腎友会の池田充氏が説明されました。最後に、今後の取り組みについ

多摩ブロック理事会会議

日時：平成25年11月10日(日)
13:00～15:00
場所：立川ルノアール
出席理事：吉田、梅原、斉藤、板橋

平成25年11月10日(日)、多摩ブロック担当の理事4名で、本年度後半の活動予定と来年度の活動計画、予算について話し合いました。詳細については今後、適宜に会議と行い、計画の具体化を急ぐことになりました。

1・本年度後半の活動について
①多摩ブロックの3グループ体制は、本年度中は維持する。空席の第2グループ長は、ブロック長が適任者をお願いする。
②次回交流会は、講師を呼ぶスタイルではなく、会員による体験発表を中心とした会員参加型にする。

て通院介護対策委員長金子智氏より「当事者・患者会として何が出来るか、何をしなければならぬか」と話された。

そのための会場確保等の条件を整える。

③カラオケ大会などの会員が楽しめる催しの開催も検討する。

④本年度内に「多摩だより」を発行する

2・来年度企画のアウトライン

①イベントとしては、講師を呼んでの学習交流会と会員参加型の交流会をそれぞれ1回ずつ開催する。

②正会員会議については、3グループ合同で年1回開催する。

③「多摩だより」は2回発行する。

④多摩ブロック理事会は、理事会終了後の時間を利用したり、立川等便の良い場所、必要に応じて適宜開催する。イベント開催前、「多摩だより」発行前、ブロック運営上の検討事項が発生した場合などに開催する。また、イベントの資料、「多摩だより」の編集、印刷、発送などもスケジュールを決め、役割分担も決めておく。

⑤立川防災館などの体験見学などのイベントの開催も検討する。

2014年度 都庁予算要請への回答

2014年度都庁予算要請は、昨年8月8日、都庁第一庁舎会議室にて行われました。今号では、前号に掲載した要請項目の主な回答を抜粋して掲載します。

要請事項① 心身障害者(児)

医療費助成制度(マル障)・難病医療費等助成制度(マル都)・心身障害者福祉手当を国の動向にかかわらず堅持継続してください。

回答 現行の制度を継続していきたいと考えております。

要請事項② 心身障害者(児)

医療費助成制度、心身障害者福祉手当制度に新規65歳以上で低所得の障害者も対象にするか、または救済する施策を検討して下さい。

回答 都の役割である就労支援やグループホーム、日常活動の場など障害者の施策の充実に努めてまいります。

要請事項③ 公費での医療費

助成や福祉制度の透析患者への認知を徹底して下さい。

回答 今後とも透析患者への周

知を図って行きたいと考えております。

要請事項④ 「新たな国民病」

としての慢性腎臓病(CKD)に対して自治体(東京都)主導で予算措置を含めて積極的に取り組みを推進してください。

回答 今後とも慢性腎臓病患者の早期発見・早期治療の推進に努めて参ります。

要請事項⑤ 東京都医師会等

の協力を得てかかりつけ医と腎臓専門医の連携強化を計ってください。

回答 今後とも掛かり付け医と腎臓専門医との連携強化に努めて参ります。

要請事項⑥ 糖尿病性腎症か

らの透析患者を増やさないため一層の対策を講じてください。

回答 今後につきましても、慢性、合併症治療等の各医療機能を提供できる体制を確立して行きたいと思えます。

要請事項⑦ 2005年度か

ら共催名義の使用承認を受けている「腎臓病を考える都民の集い」の予算化をしてください。また、東京都の施設を継続使用させてください。

回答 現在、予算化の予定はありませんが、会場につきましては、今年度は都庁舎内の大会議場を、平成26年3月16日の日曜日に使用するという事で予約をすでにとっております。今後とも出来る限りご協力をさせていただきたいと考えております。

請事項⑧ 生活習慣病からの

腎不全患者や難病患者の早期発見のため健康診査のない企業や自営業者、その家族の健

診率を高める対策をしてください。

回答 40歳未満の住民に対する健康診査は区市町村の判断で行っており、その実施内容についても区市町村の判断により行われておる所でございます。

要請事項⑨ 慢性腎臓病(CKD)

に起因する心血管系疾患や人工透析による心筋梗塞や脳血管疾患等の病状急変に備えて人工透析可能な救急医療体制の整備と強化をしてください。

回答 東京都医師会や東京消防庁との連携のもと、透析患者をはじめとする救急患者の迅速、適切な受け入れ態勢を確保する考えです。

要請事項⑩ 救急医療体制の

充実としての「東京ルール」の的確な運用をしてください。

回答 今後とも引き続き地域救急医

療センターや、東京都指定二次救急医療機関等の医療機関や東京消防庁など関係機関と連携し、「東京ルール」の安定的運用を図って行きたいと思っています。

要請事項⑪ 患者本位の医療を目指し、透析医療スタッフの充実・透析医療ミスや医療事故防止と感染症対策の行政指導を強化してください。

回答 引き続き透析医療での安全確保、および感染予防対策につきまして、医療法に基づく立ち入り検査において、適切な指導を行って参ります。

要請事項⑫ 高齢化が進む透析患者が必要とする療養病床確保のため、東京都が進める療養病床増床計画を引き続き推進してください。

回答 今後とも独自の整備費補助や経営面からの支援などを通じて、必要な病床数を引き続き確保して参ります。

要請事項⑬ 高齢化と合併症悪化等による要介護透析患者の通院支援のため通院送迎対策を実施してください。

回答 通院送迎対策の実施につきましては、サービスの対象者や要件を絞り込む事、また難病以外の疾患との公平性の観点から困難であり、現在のところ、東京都の制度として実施することは考えておりません。なお、身体障害者手帳を所有する方につきましては、介護人も含め、JR等の鉄道、カーフェリー、航空機の運賃割引制度がございますので、ご活用頂ければと考えております。

要請事項⑭ 東京都に共催名義の使用承認を受け、毎年開催している「臓器移植普及推進」の新たな取り組みを含めた予算の増額により「臓器移

植」の普及拡大を推進してください。

回答 今後も引き続き、日本臓器移植ネットワークや東腎協と連携を図りながら、予算の範囲内ですけれども、効果的・効率的な普及啓発に努めて参りたいと考えております。

要請事項⑮ 国も推進している再生医療研究を行っている都内大学医学部研究班に東京都も連携して一層の進化に努力してください。

回答 現在の所、東京都が連携して研究を行うという予定はありません。

要請事項⑯ 高齢化している島しょ透析患者の送迎を充実するための補助をしてください。

回答 今後とも島しょ地域の透析医療体制を支援するため、施設設備整備費や運営費補助及び町村が行う医療従事者の確保を支援して行きたいと思っております。

要請事項⑰ 内部障害者、難病患者、長期慢性疾患患者、小児慢性疾患患者への通所が出来る就労支援機関の設置を公共交通機関の便利な23区内

に設置してください。

回答 難病患者への就労相談につきましては、東京都難病相談センターにおいて対応している所です。現在、国において難病相談支援センターとハローワークとの連携について検討していて、難病患者就職サポートの制度についても、現在導入を考えているところです。

要請事項⑱ 時間配慮のほかに、自己管理が厳しく体調維持の難しい透析患者でも就労し、短期離職がないよう定着につながる対策を講じてください。

回答 東京ジョブコーチ支援事業を実施しておりまして、障害者を雇用する中小企業や委託訓練などの現場へジョブコーチを派遣し、職場定着を支援しております。25年度につきましては、このジョブコーチを60人から75人に増員するとともに、24年度末で終了を予定しておりました、中小企業障害者雇用支援助成事業の方につきましても、5年間延長して実施するなど支援の拡充強化を図って参ります。





協力 渡辺好徳・渡辺典史







事務局から

「ご寄付お礼」

扶桑薬品工業（株）

○東京第一支店様（11月～1月）
ご寄付ありがとうございます。

「青い鳥葉書（切手） ご寄付一覧」

【患者会】

優人クリニック患者会
豊生会

（1月10日現在まで分、敬称略・順不同）

葉書・切手等は沢山使用しますの
でいつでもご寄付を受け付けてお
りますので、今後共よろしく願
います。

～ありがとうございました～

「会費納入のお願い」

日頃より東腎協活動にご理解ご
協力ありがとうございます。会費
納入のお知らせ・振込用紙をご送
付させていただきました。まだ、
未納の患者会、個人会員の方がお
られましたら、3月決算の都合上

できるだけ速やかにお振込みいた
だけます様よろしくお願い致しま
す。

「全腎協第43次国会請願・ 署名運動、JPA（日本 難病疾病団体協議会） ご協力をお願い」

皆様から寄せられた国会請願署
名は、3月20日（木）が国会請願
行動日になっておりますので、そ
の準備に取りかかっているところ
です。患者会の皆様にはご多忙の
ところ恐縮ではございますが、日
程の都合上1月中旬までにご返送
いただきたいと思います。

「大島腎友会の災害に ついて」

10月16日（水）の台風26号の発
生。深夜元町地区で土石流の発生
により多くの方が被災されており
ます。東腎協所属・大島腎友会の
会員の方も被災され24名の透析患
者が大島町からの避難勧告指示に
より島外（東京医療保健公社大久
保病院・都立広尾病院）他での一

2014年度全腎協全国大会 in さぬ
き（香川県）
5月25日（日）
第98回理事会（未定）
6月12～15日（木～日）
日本透析医学会
6月22日（日）
第99回理事会（未定）
6月29日（日）
NPO東腎協第9回総会（障害者
福祉会館・3階）
7月6日（日）
NPO東腎協第4回大会（会場未
定）
7月12～13日（土・日）
全腎協事務局長会議
7月27日（日）
第100回理事会（未定）

1月26日（日）
第94回理事会（児童室A）
2月15～16日（土・日）
全腎協第109回理事会（東京）
2月23日（日）
第95回理事会（C3）
3月13日（木）
世界腎臓デー
3月16日（日）
第25回腎臓病を考える都民の集い
（都民ホール予定）
3月15～16（土・日）
全腎協第53回総会（場所未定）
3月20日（木）
第43次国会請願行動日
3月23日（日）
第96回理事会（児童室A）
4月27日（日）
第97回理事会（未定）
5月17～18（土・日）

今後の活動予定

時透析となりました。

しました。

また、残念ながら1名の我々の
仲間がお亡くなりになりました。
今回のことに関して、全腎協の
災害規定に基づいて手続きを完了
いたしました。
いつ何時、このような災害が起
こるか分かりません。常日頃から
災害対策に関心を持ち準備をして
いただきたいと思います。

亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。

賛助会員の 名刺広告について

通常、毎年1月号に掲載させていただいておりますが、今回200号特集等の都合で編集作業が間に合いませんので、勝手ながら5月号(予定)に掲載とさせていただきます。

編集後記

○昨年は格別の御厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

本年も理事一同、皆様にご満足

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会賛助会員 入会のご願い

1972年(昭和47年)11月19日、東京都腎臓病協議会(現、特定非営利活動法人東京腎臓病協議会)を結成しました。結成から41年を経過し、透析医療も格段に進歩し、40年を迎えている透析患者さんともいらつしやいます。

頂ける活動を心がける所存でございますので、何とぞ昨年同様のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

皆様のご健勝と貴患者会の益々のご発展を心よりお祈り致します。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

○新年号の編集作業で、久しぶりに師走の喧騒を味わっています。

「200号」を機に表紙・本文とリニューアルしました。発行日も15日発行と半月繰り上げました。

本文中の色ページは「読者のページ」として、投稿、患者会行事、東腎協の活動を中心としたコーナーです。皆さんの積極的な投稿を

その一方で社会保障制度、医療費制度の削減が社会問題となっており、莫大な費用を要する透析医療も安心してはいられない状況です。これからも医療機関、各企業、患者団体と結束して活動することが大変重要と考えます。

私どもの「命と暮らし」を守る活動に賛同いただければ是非、賛助会員として団体の活動を支えて

お待ちしております。(板橋)

○オブザーバーにも拘らず、編集に参画させていただきました。座談会に立ち会わせていただき執行部に方々の考えもそれなりに理解。

東腎協と会員の相互コミュニケーションを密にするよう一層努力をいたします。

いたします。(坂本・田崎)

訃報 一ノ清 明氏(いちのせ あきし)

平成25(2013)年12月24日逝去。昭和12(1937)年3月5日生まれ、昭和45(1970)年9月3日透析導入、虎の門・高津会、元東腎協副会長、元全腎協関東ブロック長

いただいたく心よりお願い致します。

記

賛助会員会費…個人年額5,000円、団体年額 1口10,000円/1口以上

※年1回名刺広告を機関誌「東腎協」に掲載させていただきます(但し、継続でも初年度1回のみとさせていただきます)

投稿のお願い

編集委員会では会員の皆様からの投稿を随時受け付けています。

「なかまのたより」に投稿の方、内容は問いませんので、何でもお寄せください。

また「会員さん訪問」で出てみたい方、自薦他薦は問いませんので東腎協事務局までご連絡ください。併せて「わたしたちの患者会」も募集しています。

表紙の作品募集

表紙の作品募集

次号201号から、表紙デザインは読者の皆さんの作品を掲載することにしました。絵画、写真、書道、陶芸、手芸、料理…何でも構いません。

応募時期 随時募集

応募方法 出来るだけ作品を写真撮影して、プリントとコメント(400字以内)を添えて封書で東腎協事務局(東京都豊島区南大塚2-40-11富士大塚ビル2F)へ郵送してください。

謝礼 採用の際には薄謝(図書券)を呈いたします。

選ばれているのには理由があります。
頼れるコエンザイムQ10・
L-カルニチンサプリ...

新

Q10ペプセル

栄養機能食品(ビタミンE)

キューテン

コエンザイム
Q10
60mg*

L-カルニチン
120mg*

ビタミンE
15mg*

カラダに♡
とって大切です。

でも、加齢と
ともに
不足します。

*配合栄養成分
(2粒当り)

「透折パンザイ」であなじみの
山猫先生も
毎日飲んでます!

こんなことで
お困りでは
ありませんか?



倦怠感、血圧低下、息切れ、筋肉のツリなど...

イーホープペプセルがお届けする

基本サプリメントで、確かな栄養補給を!!

目安として、1日に1~6粒程度の
範囲でお召し上がりください。

たくさんの方々にお試しいただくために、お試し価格でご提供をいたします。

お試し
販売価格 60粒入り1箱当り
2,800円

★一家族
初回1回1箱限り

- 定価5,250円/1箱当り
- 会員特価4,700円/1箱当り
- まとめて2箱なら4,500円/1箱当り
- さらに3箱まとめれば4,300円/1箱当り
- 5箱以上お買い上げは4,200円/1箱当り

- ★ペプセルシリーズは定価の5%引きで
毎月発送致します。
- ★全て税、送料込み(離島を除きます)

商品の
お求めは

お電話で 受付時間 平日9:00~18:00

フリーダイヤル

0120-266-910

不老(フロー)

Q10(キューテン)

FAXで

078-231-0330

ネットで

<http://www.clubshop.jp/>

イーホープペプセル 〒651-0084 神戸市中央区磯辺通2丁目2番25号 ダイワピュアビル803

平成24年4月より、ネット拠点を
神戸に移転いたしました。

特定非営利活動法人

東京腎臓病協議会

理事会一同



会員・ご家族の皆様
旧年中はお世話に
なりました
本年もよろしく
お願い申し上げます

Ueno Dialysis Clinic
医療法人社団湖聖会 銀座医院

上野透析クリニック

～隔日透析・長時間透析でより良い生活を～



心和む、不忍池を眺めながらの透析治療



●透析時間

午前透析 8:30～14:30

午後透析 15:30～21:50

第2.4日曜日 8:30～13:00

●送迎サービス致します

透析生活でお困りの事がございましたら
お気軽にお問い合わせ下さい
日本看護協会認定看護師(透析看護分野)
がご相談に応じます

医療法人社団 湖聖会 銀座医院 上野透析クリニック

〒110-0005 東京都台東区上野2-12-20 NDKロータスビル3F

TEL:03-5817-8770 FAX:03-5817-8771

URL: <http://www.uenotouseki-c.jp>

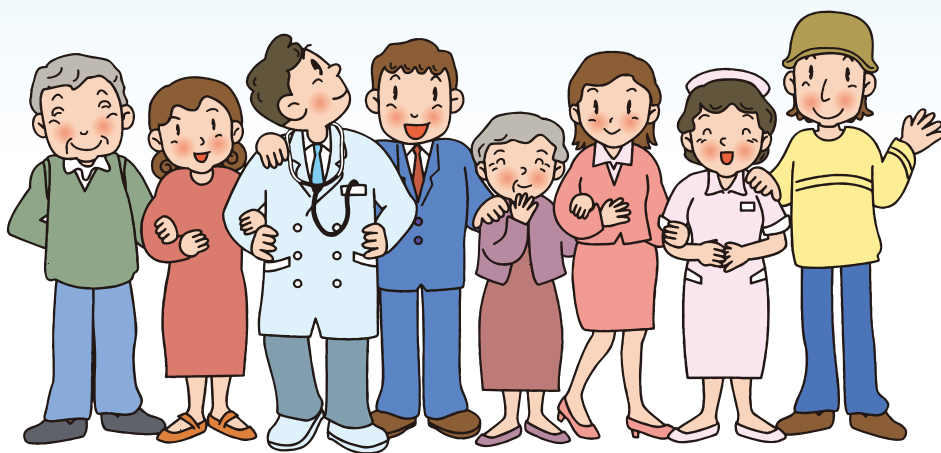
E-mail: koseikai@uenotouseki-c.jp

(2013・平成25年度)

30年透析会員のお名前

おめでとうございます。これからもがんばって!

会員名	導入年月日	患者会名
❀ 斉藤 寿江	昭和58年7月27日	吉祥寺あさひ腎友会
❀ 沢井 喜世次	昭和58年3月31日	府中けやき会
❀ 井上 光子	昭和58年1月	国分寺こやま腎友会
❀ 松浦 秀一	昭和58年9月17日	望星田無クリニック友の会
❀ 岡田 みち子	昭和58年7月1日	東町クリニック桑の実会
❀ 吉田 喜代子	昭和58年8月13日	新中野フェニックス会
❀ 内山 千恵美	昭和58年12月2日	新小岩クリニック船堀
❀ 佐々木てる子	昭和58年12月26日	新小岩クリニック船堀
❀ 袴田 仁	昭和58年5月1日	武蔵境駅前クリニック腎友会
❀ 石塚 真理	昭和58年5月23日	井口腎泌尿器科
❀ 竹島 とし子	昭和58年7月3日	秋葉原いずみクリニック
❀ 高橋 誠一	昭和58年5月28日	個人会員
❀ 木村 喜克	昭和58年9月	個人会員
❀ 井上 真一	昭和58年1月10日	虎の門・高津会(本院)
❀ 朴澤 剛	昭和58年5月2日	柳原腎クリニック健腎会
❀ 小峰智恵子	昭和58年11月2日	新中野フェニックス会



私たちの医療と福祉を守るため
ぜひ東腎協に加入しましょう

東京都腎臓病患者連絡協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F
TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556 郵便振替口座 00150-0128390